

ゲームの中のいじめに気付いた私

中一

私はゲームが好きだ。特に、友達と一緒にオンラインで協力しながら遊ぶゲームが楽しい。学校

が終わって家に帰ると、ボイスチャットをつないで、みんなで笑いながら遊ぶことが毎日の楽しみだった。そんなゲームの世界で、私は人権について考えることになるきっかけに出合った。

ある日、いつものように友達とチームを組んで遊んでいると、見知らぬプレイヤーがチームに加わった。その人は、操作に慣れていない様子で、チームの動きにもついていくことができなかつた。

間違つた場所に行つてしまつたり、ルールをよく分かっていないような行動を取つたりしたために、試合に負けてしまうことが何度かあつた。

すると、友達の一人がチャットで「まじで下手すぎ。」「何してんの。」と強い言葉でその人を責めはじめた。他の子も「これはわざと。」「足引っ張つてただけじゃん。」と笑いながら同じような言葉を続けた。

私は何も言えなかつた。ただ、その場の空気になると、そのプレイヤーは、何も言わずに試合の途中でゲームを抜けてしまつた。その後も何日か遊んでみたけれど、その人がまた現れることはなかつた。

私は、そのことがずっと心に残つていた。「ただのゲームだし、仕方ないよね。」と思おうとしたけれど、本当にそうだつたのか、自分の中で答えが出なかつた。そしてある日、その人のプロフィールを何気なく見てみた。そこには、たつた一言だけメッセージが残されていた。「楽しく遊びたかつただけなのに、ごめんなさい。」

その言葉を見たとき、私は胸がギュッと締めつけられるような気持ちになつた。きっと、あの人も私たちと同じように、楽しく遊びたくてゲームに参加しに来たのだ。それなのに、少し慣れていなかつただけで責められ、笑われ、何も言い返せないまま姿を消してしまつた。

私は、その人のことを直接傷つけるようなことは言わなかつた。だけど、何も言わずにその場を見ていた私の態度も、同じようにいけなかつたの

だと思う。「自分は言っていないから関係ない。」と思うことが、どれほど無責任だつたか、今ならよく分かる。

現実の世界では、誰かがいじめられていたら止めなければいけない。学校でもそう教えられてきた。でも、ゲームの中やネットの中では、顔が見えないせいか、みんなの言葉がきつくなりがちだ。目の前にいなくても、相手にはちゃんと心がある。たつた一言で、深く傷ついてしまうこともある。

それから私は、自分の態度を変えることにした。知らない人がチームに入つてきたら、「よろしくね。」「分からなかつたら聞いてね。」と声をかけるようにした。すると、その人が「ありがとう」と返してくれることもあって、少しだけ心が通じた気がしてうれしかつた。

最近では、前よりもみんなの言葉づかいが柔らかくなつてきたように感じる。たつた一人の行動でも、少しずつ周りに影響を与えるのかもしれない。

私は、ゲームの中にも人権があると思う。人権とは、人が人らしく生きるための当たり前の権利。そして、相手の気持ちを思いやることも、その一

つだと思う。ゲームの中だからこそ、言葉を選ぶこと、相手を大切にすることを忘れてはいけない。もし、また誰かが傷ついている場面に遭遇つたら、今度こそ私は声をあげたい。「それは違うよ。」と勇気を出して言いたい。そう思わせてくれた、あのときのプレイヤーの言葉を、私はきっと一生忘れない。